

農家のもてなし パキスタン ハイデラバード近郊 2014年

家族が昼寝をする場所でもあるの  
だろう、ひさしの下にお茶をふるまう  
腰掛け用のベッドが置かれている。  
この農家のシーツは格段に美しい  
色と柄であった。

写真撮影:小林進介



ドライブインで休息 パキスタン カラチ郊外 2014年

有料幹線道路沿いのドライブインに  
ベッドが並ぶ。運転手や同乗者が  
胡坐をかいて食事をしたりお茶を飲  
んだり、寝そべったりしてくつろぐ。

写真撮影:小林 進介



マナツの乗り合い三輪タクシー 東ティモール マナツ県 2015 年

市内でも公共交通の便に乏しい住民の交通手段。市場から買い物帰りの客を小走りくらいのスピードで運ぶ。

写真撮影:河野 尚由



家畜を守る パキスタン シンド州 2016 年

虫よけの蚊帳に納まる子水牛。家畜を大切に扱う伝統が息づく。

写真撮影:小林 進介



ずぶ濡れになって歓喜する子供たち パキスタン シンド州 2016年

年平均降水量が200ミリに満たない乾燥地にあるハイデラバードでは、烈しいにわか雨で乾いた空気が洗われる。

写真撮影:小林 進介



稲ワラの山を這い上がる子どもたち パキスタン シンド州 2014年

灌漑に頼るシンド州の家畜飼育では、作物残さ、野草などあらゆる植物資源が家畜の餌となる。この貴重な稲ワラの山を遊び場にしたため、親にこっぴどく叱られた。

写真撮影:小林 進介



ヒトモノも運ぶバイクタクシー パキスタン シンド州 2015年

埃が舞う街中での乗り心地がよくはないが、混み合う路線バスを避けて利用する女性客が多い。背もたれで前向き、後ろ向きに区切られて、それぞれ2～3名が座れる。

写真撮影:小林 進介



減っていく茅葺き屋根の家 東ティモール マナツト県 2015年

田舎に行くと多く見られる昔ながらの高床式住居は、暑さ対策、ネズミ除け、雨水侵入防止、湿気防止になる。

写真撮影:河野 尚由



大きく育てた早苗 カンボジア バッタバン州 2010年

バッタンバン州では、蒸散を防ぐために葉先を切り落とした大苗を田植えに用いる。小さい苗ではカニに食べられてしまうから。

写真撮影:大竹 雅洋



超満載で運搬される飼料用稲わら パキスタン シンド州 2014年

わらに豆粕、ふすま、糠、穀類、青刈り草などを混ぜて水牛と牛に給餌する。

写真撮影:小林 進介



一斉に乳搾り パキスタン ハイデラバード 2014 年

数百頭から数千頭規模の水牛と牛を抱える企業の畜産経営体で一斉に搾乳(水牛)の時間。

写真撮影:小林 進介



水牛も人も同じ水路で水浴び パキスタン ハイデラバード 2014 年

日中 40 度を超す暑さに、インダス川から水を引く灌漑用水路で水牛は体温調節の水浴、人は流れの少し上で水浴び。

写真撮影:小林 進介



商業地区を行き交う人々 パキスタン ハイデラバード 2014年

下町の雑踏。卸し、小売店が集中する地区に、様々な目的で多様な乗り物を使って集まる人が行き交う。

写真撮影:小林 進介



飼い葉を運ぶ アフガニスタン バーミヤン州 2012年

植生の乏しい乾燥地ではあらゆる草や葉を飼い葉にする。冬に備えて、栄養価は低いが野生灌木の葉を集めてロバに牛舎へ運ばせる。針葉がロバの背や横腹をチクチクと刺す。

写真撮影:小林 進介



燃料作り アフガニスタン パーミヤン州 2012年

乾燥させた牛の糞に水を加えて練り、一定の大きさの団子にしてから皿状にのばし2~3日乾燥させて保存する。

写真撮影:小林 進介



薪(たきぎ)を担いで運ぶ女性 ネパール チトワン国立公園 2012年

煮炊きに使う薪を国立公園内から持ち出している。膝下くらいの深さの川をゆっくり、しっかりとした足取りで反対岸まで進んでいた。

写真撮影:佐藤 健次





メコン川の夕日 ラオス ビエンチャン 2009 年

対岸に広がる夕焼け空がおだやかな川面に写し出されていた。

写真撮影:清治 有



バスもバイクも乗れるだけ ネパール ポカラ 2010 年

村と最寄りの町を往復する乗り合いバスは本数が限られていつでも鮪詰め状態。車輪がひん曲がっているし、崖から落ちる事故のことを聞くことがある。

写真撮影:川畑 享子



## ブータン パロ市 2007 年

パロ県の県庁は、ヒマラヤ山脈を背景に標高 2300 メートルほどのところにあり、国立博物館はさらに上に建てられた。徒歩もいいが車で行く道路もある。

撮影:櫻井 文海



## 聖地ケチャック山 タイ・チャンタブリ県 2011 年

年に 2 ヶ月しか入れない間は善男善女でにぎわいます。山頂には大きな岩があり、ブッダの足跡が残されているといわれていますが、人々がふりかけた黄色い花びらに隠れてみることはできません。

撮影:及川 雅典



## 水車 パプアニューギニア マダン州ミス村 2007年

山の中では電気もエンジンもないため、降水量が豊富である利点を活かし、杵搥り用木臼を動かす水車を製作。

撮影:濱中 透



## 収穫作業は皆で ブータン 2009年

ブータンの稲作農家の3分の2以上は手刈りで稲を収穫する。鎌で刈り取った稲を田んぼ一面に丁寧に並べて乾燥させてから脱穀する。家族総出あるいは近隣農家と共同の作業である。稲わらは牛の飼料にする。

撮影:櫻井 文海



## バタンバン像 バタンバン、カンボジア 2010年

バタンバンのシンボル、バタンバン像です。実在したカンボジアの将軍で、像は棒を持っていますが、この棒を失くしてしまったことが州の名前の由来のようです。「バット(亡くす)ポーン(棒)」がバタンバンになったとのことです。

撮影:大竹 雅洋



## いつもの魚屋さん カンボジア・プノンペン 2008年

プノンペンにはいくつかの食料、日用品を商うマーケットがあるが、これは特に規模の大きい中央市場(プサトメイ)にある魚屋さん。いつでも、新鮮なサバ、サンマ、シシャモ、アジ、エビ、イカなどが手に入る。大きな魚は切り身で売ってくれる。時期により、カニ、ロブスター、カキ、ホタテなどもある。

撮影:及川 雅典



## カンボジアの孤児院にて プノンペン近郊 2008 年

カンボジアの内戦によって孤児となった30～40人が暮らしている。日本の幾つかのNPOが支援しているが、孤児がカンボジアの伝統的な踊りを披露することで孤児院の運営経費の足しになっている。

撮影:佐藤 健次



## ブータン最大の祭り「チェチュ」 ブータン・パロ 2006 年

パロで毎年開催される、開祖グル・リンポチェを称えるお祭。広場に祭壇と巨大な仏画大タンカが飾られ、人々は夜が明けないうちから集まり、1年の無事や幸せを願い仏に祈りをささげる。

撮影:櫻井 文海



## 熱帯の高地の段々畑でジャガイモ生産 インドネシア・西ジャワ州 2004 年

標高 1000m～1300m のバンドン県  
パガレガン郡は野菜、畑作物の栽培  
地域。特にジャガイモ生産地とし  
て有名です。人参、トウモロコシなど  
と輪作されます。雇用労働を伴う自  
作農によって生産されますが、ジャ  
ガイモは食品会社との契約栽培も  
あります。

撮影：飯川 泉



## 自然堤防上の小集落(約半年間は水上の孤島になる) バングラデシュ・ハオール 2006 年

上流インドから流下するプラマフトラ川  
の洪水は、ハオール地域において約  
半年湛水するため、この地域の集落  
は自然堤防上の微高地にある。しかし、  
水深 2～3 メートルの洪水期に、季節  
風による風浪のため集落の周囲が浸  
食される。波浪浸食防止護岸は、これ  
を防ぐために高さ 1～2 メートルレン  
ガを積んで築かれるが、時に倒壊す  
る。

撮影：山川 精一



## 熱帯林の消防 インドネシア・スマトラスラタン州 1991年

熱帯林の植林作業管理に従事する林務官は、不審火が起きるたびに消火筒を手に燃え際まで駆けつける。古くは森林であった土地が、主に違法入植と焼畑移動耕作、これらに伴う火入れにより、広大な面積が荒蕪地化している。植林事業が営々と続けられてきているが、再森林化は容易ではない。

撮影：華表 一夫

